

映像研究科
大視聴覚室レーザープロジェクタ
及び周辺機材調達

仕 様 書

令和3年7月

国立大学法人東京藝術大学

仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

本学大学院映像研究科（以下「本学」という。）においては、映像制作、セミナー等本学主催の各種イベント等において常時プロジェクタを利用しており、稼働率はほぼ 100%である。

現在 大視聴覚室に導入中の Barco 社製 2K プロジェクタは、導入より 10 年経過し、既存のシネマサウンドプロセッサのメーカー保守が切れている。高輝度、高画質なプロジェクタやパソコン等を接続するためのシステムを整備することより、教育研究の充実を図るものである。

映像の高精細化がこの 10 年で一段と進み、現在主要な劇場では、4K レーザープロジェクタが採用されている。4K 映像制作するための機材がまだ大学に十分でないが、今後は 4K 映像に移行していくことが予想される。

現在導入のプロジェクタは Barco 社製であり、IMAGICA などの主要編集プロダクション会社が Barco 社製プロジェクタを導入しており、同機種を採用することに大きなメリットがあることから本学でも Barco 社製 SP4K-12C を選定して導入する。

2. 調達件名

大視聴覚室レーザープロジェクタ及び周辺機材 一式

3. 調達品及び数量

①Barco 社製 SP4K-12C（レンズ、操作確認用 PC 込み） 一式

②シネマサウンドプロセッサ CP-950 1 台

③設置調整工事

既存ペディスタル Universal Digital Cinema pedestal を流用できること

上記設備（①②）二次側電気配線工事を実施できること

上記設備（①②）運搬、現地搬入据付工事が実施できること

④既存プロジェクタ DP2K-20C、既存シネマサーバードレミ社製 DCP-2K4、既存シネマサウンドプロセッサの撤去及び処分

⑤上記設置に伴う消耗品経費

※上記物品、もしくは同等品以上の物品であること。

なお、同等品以上で応札する場合は、事前に本学の了承を得ること。

4. 機器仕様

① 4K レーザープロジェクタ（0.98 用 C レンズ）

(1)DMD デバイス：0.98” X 3 DC4K TRP 相当であること。

(2)ネイティブ解像度 4,098 X 2,160 ピクセル以上

(3)ネイティブコントラスト比が 2300:1 であること。

- (4)色階調は DCI P3、Rec2020 で 98.5%を再現できること。
- (5)光源はレーザーで輝度が通常 11,000lm であり、輝度を 20%まで下げることができること。
- (6)タッチパネルが日本語表記でありウェブベースのインターフェースがあること。
- (7)ハウジングは統合冷却設計及び特許を取得したシールド型光学アッセンブリであること。
- (8)フィルターが水洗いできること。
- (9)デジタルシネマサーバーについては、ICMP-X 2TB 相当のメディアサーバーを搭載すること DCI 規格に準拠した使用であること (JPEG2000, MPEG2 をサポートしていること)
- (10)無償保証期間は 2 年間であること、また年一回の保守点検を実施できること。

保守点検は水冷冷却液補充、各部接続チェック、ランプハウスチェック、フィルター清掃
ボード・タッチパネル・I T C 関連・TI ボード等のバージョンアップ、レンズ調整
画角調整、ボードチェック等カラーマネジメントは色彩色差計を使用し校正する事

② サウンドプロセッサー

DOLBY 製シネマサウンドプロセッサーCP950 と同等の規格を満たした製品を提供
既存 DOLBY 製 CP650 との入れ替え

5. 納入場所

大学院映像研究科馬車道校舎大視聴覚室

6. 納入期限

令和 3 年 10 月 25 日

7. その他

- ・現地操作説明 (3 日間) を実施すること
- ・日本語マニュアルを提供できること
- ・調達物品の操作に関する問合せに対して、電話、メールによる対応が可能な体制をとること。
- ・調査において通信障害の切り分けが必要な場合、出張対応が可能な体制をとること。
- ・通常の使用で発生した故障の修理受付及び対応が可能な体制をとること。
- ・調達物品の修理、部品供給、その他アフターサービスについては速やかに対処すること

不明の点は係員の指示に従うものとする。

以上